



次の計算をしよう。

$$3 : 1 = \boxed{}$$

$$12 : 4 = \boxed{}$$

$$120 : 40 = \boxed{}$$

$$3 : 1 = \boxed{3}$$

$$12 : 4 = \boxed{3}$$

$$120 : 40 = \boxed{3}$$

3つとも同じ答えになったよ。



3つの式の数を比べてみよう。

$$3 : 1 = 3$$

$$\downarrow \times \boxed{4} \quad \downarrow \times \boxed{}$$

$$12 : 4 = 3$$

$$\downarrow \times \boxed{} \quad \downarrow \times \boxed{}$$

$$120 : 40 = 3$$

いくつをかけると、
下の式の数になる
かを調べるのね。



$$3 : 1 = 3$$

$$\downarrow \times \boxed{4} \quad \downarrow \times \boxed{4}$$

$$12 : 4 = 3$$

$$\downarrow \times \boxed{10} \quad \downarrow \times \boxed{10}$$

$$120 : 40 = 3$$

12 : 4は、3 : 1の前後の
数の数に4をかけた数ね。

120 : 40は、12 : 4
の前後の数に10をかけた
数ね。



Bien!



次は、3つの式を並べ替えて比べてみよう。

$$120 : 40 = 3$$

$$\downarrow : \boxed{10} \quad \downarrow : \boxed{}$$

$$12 : 4 = 3$$

$$\downarrow : \boxed{} \quad \downarrow : \boxed{}$$

$$3 : 1 = 3$$

いくつでわると、
下の式の数になる
かを調べるんだね。



$$120 : 40 = 3$$

$$12 : 4 = 3$$

$$12 : 4 = 3$$

$$3 : 1 = 3$$

$$3 : 1 = 3$$



Bien!



120 : 40は、12 : 4
の前後の数を10でわった
数ね。

12 : 4は、3 : 1の前後
の数を4でわった数ね。

$$3 : 1 = 3$$

$$12 : 4 = 3$$

$$12 : 4 = 3$$

$$120 : 40 = 3$$

$$120 : 40 = 3$$

答えは
同じ

わり算は、:の前の
数と後ろの数に同じ
数をかけても、答え
(わった後の数)は
変わらない。



$$120 : 40 = 3$$

$$12 : 4 = 3$$

$$12 : 4 = 3$$

$$3 : 1 = 3$$

$$3 : 1 = 3$$

答えは
同じ

そして:の前の数と
後ろの数を同じ数で
わっても、答え
(わった後の数)は
変わらないという
きまりがあるよ。



わり算のきまりを使って、次の計算をしよう。

$$3200 : 80 = \boxed{}$$

わり算のきまりは、「わり算では、 $:$ の前の数と後ろの数に同じ数をかけても、同じ数でわっても、答え（わった後の数）は変わらない」ということだったね。



$$3200 : 80 = \boxed{}$$



$: 10$



$: 10$

$$320 : 8 = \boxed{}$$

答えは
同じ

$$3200 : 80 = \boxed{40}$$



$: 10$



$: 10$

$$320 : 8 = \boxed{40}$$

答えは
同じ



Bien!

$3200 : 80$ を、 $:$ の前の数と後ろの数を同じ10でわった $320 : 8$ と、答えは40で同じなんだね。



数の図の **u** は ●, **d** は ×, **c** は ○, **m** は □ のことです。



3200 : 80 を縦に書く方法でやってみよう。

$$3200 : 80$$

両方の数を
10でわる。

m	c	d	u
3	2	0	0

$$\frac{80}{80}$$

まず、3200と
80で、同じ数だ
け0を消すよ。



答えを考える。

m	c	d	u
3	2	0	0

$$\frac{80}{4}$$

32の中に8は4個
あるね。



: の後ろの数と
書いた数をかける。

m	c	d	u
3	2	0	0
3	2		

$$\frac{80}{4}$$

8の4個分だから、
8×4で32だね。



数の図の **u** は ●, **d** は ×, **c** は ○, **m** は □ のことです。



計算の続きをしよう。

3200 : 80

数をひく。

	m	c	d	u	
	3	2	0	0	80
—	3	2			4
<hr/>					
		0			

32から32をひくから残りは0だね。



答えを考える。

	m	c	d	u	
	3	2	0	0	80
—	3	2	↓		40
<hr/>					
		0	0		

d の位の数の0が残っていて、0の中に4はないから、4の右に0を書くよ。答えは40だね。



3200 : 80 = **40**





3400 : 80を縦に書く方法でやってみよう。

3400 : 800

両方の数を
100でわる。

m	c	d	u
3	4	0	0

800

まず、3400と
800で、同じ数
だけ0を消すよ。



答えを考える。

m	c	d	u
3	4	0	0

800
4

34の中に8は4個
あるね。



:の後ろの数と
書いた数をかける。

m	c	d	u
3	4	0	0
3	2		

800
4

8の4個分だから、
8×4で32だね。



数の図の **u** は ●, **d** は ×, **c** は ○, **m** は □ のことです。



計算の続きをしよう。

$$3400 : 800$$

数をひく。

	m	c	d	u
	3	4	0	0
—	3	2		
		2		

800
4

34から32をひくから残りは2だね。
2の中に8はないから、2はあまりだ。



答えを考える。

	m	c	d	u
	3	4	0	0
—	3	2		
		2	0	0

800
4

あまりの2は、100のまとまりが2個分だね。消した分だけ0をつけて、200があまりだよ。



$$3400 : 800 = 4 \text{ reste } 200$$





答えが正しいかをたしかめよう。
わり算の答えのたしかめ方は覚えているかな。

$$3400 : 800 = 4 \text{ reste } 200$$

全部の数

1グループあたりの物の数

グループの数

あまり

1グループあたりの物の数

グループの数

あまり

全部の数

$$\boxed{} \times \boxed{} + \boxed{} = \boxed{}$$

=の左側を計算して、全部の数が3400になれば、わり算の答えは正しいのね。



1グループあたりの物の数

グループの数

あまり

全部の数

$$800 \times 4 + 200 = 3400$$



Bien!



縦に書く計算で、あまりを2にして答えをたしかめると、
 $800 \times 4 + 2 = 3202$
全部の数が3400にならないね。
あまりの数は、0を消した数だけ残った数につけよう。

	m	c	d	u	
	3	4	0	0	800
-	3	2			4
		2			

$3400 : 800 = 4 \text{ reste } 2$

例題 次の計算をしましょう。答えのたしかめもしましょう。

$$3400 : 800 = \boxed{4} \text{ reste } \boxed{200}$$



Bien!

	m	c	d	u	
	3	4	0	0	800
—	3	2			4
		2	0	0	

[たしかめ]

$$800 \times \boxed{4} + \boxed{200} = 3400$$

問題 次の計算をしましょう。答えのたしかめもしましょう。

$$\textcircled{1} 3800 : 900 = \boxed{} \text{ reste } \boxed{}$$

	m	c	d	u	
	3	8	0	0	900
—					

[たしかめ]

$$900 \times \boxed{} + \boxed{} = 3800$$

$$\textcircled{2} 2700 : 600 = \boxed{} \text{ reste } \boxed{}$$

	m	c	d	u	
	2	7	0	0	600
—					

[たしかめ]

$$600 \times \boxed{} + \boxed{} = 2700$$

問題

次の計算をしましょう。答えのたしかめもしましょう。

$$\textcircled{3} 5800 : 1200 = \boxed{} \text{ reste } \boxed{}$$

	m	c	d	u	
	5	8	0	0	1200
—					
—					

[たしかめ]

$$1200 \times \boxed{} + \boxed{} = 5800$$

$$\textcircled{4} 36000 : 700 = \boxed{} \text{ reste } \boxed{}$$

	m	c	d	u		
	3	6	0	0	0	700
—						
—						
—						

[たしかめ]

$$700 \times \boxed{} + \boxed{} = 36000$$

$$\textcircled{5} 23000 : 400 = \boxed{} \text{ reste } \boxed{}$$

	m	c	d	u		
	2	3	0	0	0	400
—						
—						
—						

[たしかめ]

$$400 \times \boxed{} + \boxed{} = 23000$$

例題 次の計算をしましょう。「-」も書きましょう。

$$3400 : 800 = \boxed{4} \text{ reste } \boxed{200}$$

m	c	d	u
3	4	0	0
3	2		
<hr/>			
	2	0	0

800

4



Bien!

わすれ
ないで!

問題 次の計算をしましょう。「-」も書きましょう。

① $2700 : 500 = \boxed{} \text{ reste } \boxed{}$

m	c	d	u
<hr/>			

② $3100 : 600 = \boxed{} \text{ reste } \boxed{}$

m	c	d	u
<hr/>			

問題 次の計算をしましょう。「-」も書きましょう。

③ $5300 : 1300 = \boxed{} \text{ reste } \boxed{}$

	m	c	d	u
—				
—				

④ $27000 : 600 = \boxed{} \text{ reste } \boxed{}$

	m	c	d	u
—				
—				
—				

⑤ $31000 : 400 = \boxed{} \text{ reste } \boxed{}$

	m	c	d	u
—				
—				
—				